

ひょうごらくのうメモ

平成29年11月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名“うし” すぎ木 りお 9才
(大阪市鶴見区)

目次 (第34回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向(累計)
2	行事メモ 29年11月
3	計画生産推進一覧表《29年度10月》
4	用途別販売成績《29年度10月》
5	生乳検査実績速報《29年度10月》
6	淡路家畜市場情報《29年度10月》
7	隣県家畜市場情報《29年度10月》
8	北海道産牛価格情勢《29年度10月》
9	北海道乳牛産地情報《29年度10月》
10	牛群成績平均情報《29年度10月》
11	乳用牛改良情報《29年度10月》
12	輸入粗飼料の情勢《29年度10月》
13	兵庫県乳牛共進会入賞一覧表

発行:兵庫県酪農農業協同組合

酪農メモ

平成29年11月
兵庫県酪農協

報告

1. 生乳生産量の動き（全国）・・・（平成29年10月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成29年 4月	616.7	97.8
平成29年 5月	645.2	98.8
平成29年 6月	614.5	98.1
平成29年 7月	610.2	96.7
平成29年 8月	600.5	98.4
平成29年 9月	580.7	99.2
平成29年10月	600.7	100.0
平成29年11月		
平成29年12月		
平成30年 1月		
平成30年 2月		
平成30年 3月		
平成29年度累計	4268.5	98.4

2. 生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く） （平成29年10月・前年より139.8トンの減、・9管内中前年より増加は無し）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成29年 4月	7,179,451	97.6	94.7	279
平成29年 5月	7,364,546	98.5	96.4	278
平成29年 6月	6,894,142	99.3	97.3	278
平成29年 7月	6,611,755	96.6	94.4	278
平成29年 8月	6,297,029	96.2	93.8	276
平成29年 9月	6,308,307	97.8	95.9	274
平成29年10月	6,495,673	97.9	96.2	274
平成29年11月				
平成29年12月				
平成30年 1月				
平成30年 2月				
平成30年 3月				
平成29年度累計	47,150,903	97.7	95.5	274

3. 行事メモ <平成29年11月>

- ◆ 11月16日 平成29年度乳用初妊牛展示販売会 淡路・小野両供給センター
25日 初妊牛の価格高騰が続く中ではありますが全酪連の協力を得て今年度の展示販売会を開催しました。淡路では15頭、小野10頭を展示し、多数ご来場いただき完売頂きました。引き続き購買課において初妊牛導入委託販売を承りますのでご相談ください。

◆ 11月22日 平成29年度上期監査会

- 監査事項 1) 事務執行並びに上期仮決算について
2) その他

◆ 11月24日 酪農ふれあい体験授業 北区小部東小学校

29日 // 伊丹市有岡小学校

両日3年生を対象に搾乳模擬体験・牛乳のお話・子牛の哺乳等実施しました。

4. 行事予定<平成29年12月>

- 12月 2日 第2回こうべ地域たべもの祭り (神戸ワイナリー)
4日 理事会
7日 丹波市酪農組合忘年会 (丹波市)
12日 さんだ酪農婦人部送別会・忘年会 (三田市)
三木市酪農部会総会 (三木市役所)
14日 理事会
20日 地区別懇談会 (淡路)
21日 // (阪神・播州)
22日 // (丹但)

● 12月精液配布コース予定日

5日西播コース 12日東播コース 13日淡路コース 19日丹波コース
26日但馬コース

平成29年度10月分計画生産推進一覽表

委託団体名	10月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比	(単位:kg, %)	
								10月分 生乳生産乳量	前年対比
旧兵庫六甲農協管内	1,399,321.0	98.9	10,319,166.0	96.3	4月	7,179,451.0	97.6		
旧みのり農協管内	361,774.0	98.0	2,690,512.0	100.8	5月	7,364,546.0	98.5		
旧東播磨農協管内	1,622,532.0	98.1	11,650,054.0	98.1	6月	6,894,142.0	99.3		
旧西播磨農協管内	489,604.0	94.3	3,507,231.0	95.3	第1四半期	21,438,139.0	98.4		
旧たじま農協管内	44,641.0	97.6	348,983.0	101.2	7月	6,611,755.0	96.6		
旧北但酪農協管内	152,309.0	85.8	1,202,241.0	90.1	8月	6,297,029.0	96.2		
旧兵庫丹但酪農協管内	437,338.0	96.5	3,181,836.0	99.9	9月	6,308,307.0	97.8		
旧淡路日の出農協管内	380,620.0	97.7	2,676,280.0	94.3	第2四半期	19,217,091.0	96.9		
旧淡路島酪農協管内	1,607,534.0	99.7	11,574,600.0	99.6	10月	6,495,673.0	97.9		
					11月				
					12月				
					第3四半期	6,495,673.0	97.9		
					1月				
					2月				
					3月				
					第4四半期	0.0			
合計	6,495,673.0	97.9	47,150,903.0	97.7	合計	47,150,903.0			

公共施設分			今年度 累計
委託団体名	10月分 生乳生産乳量	今年度 累計	
旧兵庫六甲農協			
旧みのり農協			
旧東播磨農協	25,703.0	175,292.0	
旧西播磨農協	2,015.0	22,085.0	
旧たじま農協			
旧北但酪農協			
旧兵庫丹但酪農協			
旧日の出農協			
旧淡路島酪農協	22,806.0	173,120.0	
合計	50,524.0	370,497.0	

公共施設含む		今年度 総乳量
10月分 総乳量	今年度 総乳量	
1,399,321.0	10,319,166.0	
361,774.0	2,690,512.0	
1,648,235.0	11,825,346.0	
491,619.0	3,529,316.0	
44,641.0	348,983.0	
152,309.0	1,202,241.0	
437,338.0	3,181,836.0	
380,620.0	2,676,280.0	
1,630,340.0	11,747,720.0	
6,546,197.0	47,521,400.0	

公共施設含む			
農家戸数		前年対比	
4月1日	増減数	H29.10.1	
46	-3	43	93.5%
15	0	15	93.8%
40	0	40	97.6%
13	0	13	100.0%
2	0	2	100.0%
11	0	11	91.7%
24	0	24	100.0%
21	-1	20	90.9%
107	-1	106	99.1%
279	-5	274	96.8%

*戸数参考:「個人別乳量報告に係る廃業者等報告書」

平成29年度10月用途別販売実績（速報）

平成29年11月15日
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	314,291	101.0	2,227,493	98.7 (98.8)	北海道	314,291	101.0	2,227,493	98.7
青森	5,135	101.0	35,722	97.6					
岩手	16,358	99.1	115,445	97.6					
宮城	9,522	100.8	67,717	100.0					
秋田	2,090	92.9	15,150	93.6					
山形	4,973	97.7	36,267	97.1					
福島	5,593	96.6	40,088	96.6					
東北生乳販連	43,670	98.9	310,389	97.7	東北生乳販連	43,670	98.9	310,386	97.7
茨城	13,452	105.4	96,109	104.2					
栃木	26,479	99.2	189,145	99.6					
群馬	16,365	95.9	119,260	97.1					
埼玉	4,342	97.1	31,848	97.4					
千葉	16,687	97.4	120,186	98.0					
東京	746	95.8	5,613	97.4					
神奈川	2,729	96.4	20,574	96.2					
山梨	1,035	103.0	6,987	98.2					
静岡	7,020	99.3	50,421	99.2					
関東生乳販連	88,856	98.9	640,143	99.2	関東生乳販連	88,856	98.9	640,143	99.2
新潟	3,549	95.1	26,030	95.3					
富山	912	93.2	6,577	91.6					
石川	1,612	98.9	11,323	93.8					
福井	452	94.5	3,221	93.0					
北陸酪連	6,525	95.7	47,151	94.2	北陸酪連	6,525	95.7	47,151	94.2
長野	7,826	95.1	54,909	95.1					
岐阜	2,979	95.8	21,385	96.2					
愛知	13,994	97.1	100,953	96.7					
三重	4,364	103.0	30,906	101.6					
東海酪連	29,162	97.3	208,153	96.9	東海酪連	29,162	97.3	208,153	96.9
滋賀	1,486	96.7	10,811	97.0					
京都	1,492	87.2	11,003	89.7					
大阪	781	101.6	5,518	96.8					
兵庫	6,496	97.9	47,151	97.7					
奈良	1,930	95.4	14,057	94.8					
和歌山	403	99.0	2,931	101.8					
近畿生乳販連	12,587	96.2	91,471	96.2	近畿生乳販連	12,587	96.2	91,471	96.2
鳥取	4,579	99.7	32,315	99.8					
島根	5,399	97.3	37,713	97.3					
岡山	7,187	97.6	50,845	95.4					
広島	3,862	97.5	27,441	97.6					
山口	1,228	92.7	8,891	95.6					
中国生乳販連	22,255	97.7	157,205	97.1	中国生乳販連	22,255	97.7	157,205	97.1
徳島	2,443	97.2	17,754	97.2					
香川	2,952	102.2	20,748	100.7					
愛媛	2,182	96.0	15,921	94.7					
高知	1,681	96.4	12,183	95.7					
四国生乳販連	9,259	98.3	66,606	97.4	四国生乳販連	9,259	98.3	66,606	97.4
福岡	6,175	97.6	43,682	96.2					
佐賀	1,140	92.5	8,119	91.2					
長崎	3,153	98.0	22,706	97.1					
熊本	19,521	99.3	139,793	98.9					
大分	5,401	95.3	39,232	94.3					
宮崎	6,077	95.8	44,145	94.9					
鹿児島	6,609	99.7	48,260	96.0					
九州生乳販連	48,076	98.0	345,936	96.8	九州生乳販連	48,076	98.0	345,936	96.8
都府県	260,391	98.2	1,867,055	97.7	都府県	260,391	98.2	1,867,053	97.7
合計	574,682	99.7	4,094,549	98.2 (98.3)	合計	574,682	99.7	4,094,546	98.2

注1) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

注3) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	79,405	-	513,385	-	北海道	1,728	-	12,129	-
東北生乳販連	34,458	-	232,968	-	東北生乳販連	6,391	-	49,239	-
関東生乳販連	70,766	-	491,997	-	関東生乳販連	12,588	-	93,172	-
北陸酪連	6,213	-	44,658	-	北陸酪連	239	-	1,834	-
東海酪連	24,375	-	170,927	-	東海酪連	4,229	-	30,788	-
近畿生乳販連	11,730	-	85,072	-	近畿生乳販連	745	-	5,558	-
中国生乳販連	16,775	-	115,407	-	中国生乳販連	4,777	-	35,326	-
四国生乳販連	8,801	-	63,414	-	四国生乳販連	307	-	2,175	-
九州生乳販連	35,686	-	248,192	-	九州生乳販連	7,741	-	55,840	-
都府県	208,804	-	1,452,634	-	都府県	37,016	-	273,931	-
合計	288,209	-	1,966,019	-	合計	38,744	-	286,059	-

5) 特定乳製品向け (脱脂粉乳・バター等向け)

6) 生クリーム等向け

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	98,031	109.1	727,864	94.3	北海道	106,132	-	742,242	-
東北生乳販連	1,820	80.1	22,253	88.0	東北生乳販連	790	-	4,373	-
関東生乳販連	4,031	96.8	43,792	89.1	関東生乳販連	1,416	-	10,749	-
北陸酪連	33	104.9	326	105.8	北陸酪連	35	-	295	-
東海酪連	362	73.7	4,898	83.0	東海酪連	74	-	539	-
近畿生乳販連	0	-	168	68.0	近畿生乳販連	111	-	662	-
中国生乳販連	327	103.7	3,576	106.2	中国生乳販連	343	-	2,661	-
四国生乳販連	0	-	9	14.7	四国生乳販連	139	-	975	-
九州生乳販連	1,890	97.4	23,139	86.6	九州生乳販連	2,661	-	18,076	-
都府県	8,462	91.8	98,161	88.4	都府県	5,568	-	38,329	-
合計	106,494	107.5	826,025	93.5	合計	111,701	-	780,570	-

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	10月		4-10月累計		指定団体	10月		4-10月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	28,995	86.8	231,874	94.1	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	211	85.0	1,554	98.0	東北生乳販連	0	-	3	29.9
関東生乳販連	57	97.9	434	98.5	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	5	94.5	39	102.2	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	123	104.0	1,002	102.5	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	1	71.1	12	79.5	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	33	86.8	235	96.1	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	11	101.5	33	100.8	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	99	97.8	689	97.4	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	540	92.8	3,998	98.9	都府県	0	-	3	29.9
合計	29,535	86.9	235,872	94.2	合計	0	-	3	29.9

注1) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 今年度から生クリーム等向けの定義が変わり、飲用牛乳・はっ酵乳等向けに移った数量がありデータに連続性がないため、それぞれの前年比は表示していません。

注3) 北海道の生クリーム等向けには、その他向けが含まれています。

注4) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成29年10月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.93%(前年同月+0.05%)、乳蛋白質率3.38%(前年同月比+0.04%)、無脂固形分率8.78%(前年同月比+0.07%)、体細胞数33.8万/ml(前年同月比+1.5万/ml)、細菌数8.0万/ml(前年同月比+2.6万/ml)であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

(単位:戸・%・万/ml)

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	43	43	3.92	3.86	3.36	3.31	8.75	8.67	35.7	39.6	14.7	34.1
播 州	68	68	3.92	3.81	3.40	3.34	8.80	8.75	38.8	39.9	6.3	7.0
丹 但	36	36	3.94	3.85	3.42	3.39	8.81	8.79	36.4	37.3	9.4	5.6
淡 路	123	123	3.93	3.85	3.36	3.30	8.76	8.70	29.6	32.0	6.2	5.1
県 平 均	270	270	3.93	3.84	3.38	3.32	8.78	8.72	33.8	35.9	8.0	10.3

『地域別乳質改善目標達成割合』

(単位:件・%)

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	129	83.7	88.4	64.3	45.7	81.4
播 州	204	81.9	93.6	77.0	40.2	88.2
丹 但	108	82.4	88.9	74.1	46.3	86.1
淡 路	369	82.7	83.2	61.8	59.6	88.1
県 平 均	810	82.6	87.4	67.7	50.7	86.8

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

(単位:件・%・万/ml)

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	129	3.92	83.7	3.36	88.4	8.75	64.3	35.7	45.7	14.7	81.4
みのり	45	3.88	82.2	3.37	84.4	8.74	66.7	55.6	31.1	10.5	73.3
東 播	120	3.91	82.5	3.39	95.8	8.80	78.3	36.3	36.7	5.6	91.7
西 播	39	3.99	79.5	3.47	97.4	8.88	84.6	27.0	61.5	3.5	94.9
北 但	33	4.03	97.0	3.50	93.9	8.91	87.9	45.7	42.4	21.0	69.7
兵庫丹但	69	3.90	76.8	3.38	87.0	8.77	69.6	33.5	43.5	4.5	92.8
たじま	6	3.91	66.7	3.38	83.3	8.72	50.0	18.3	100.0	1.4	100.0
淡路日の出	57	3.85	82.5	3.23	57.9	8.66	47.4	29.7	59.6	2.9	96.5
淡 路 島	312	3.95	82.7	3.38	87.8	8.78	64.4	29.6	59.6	6.8	86.5
県 平 均	810	3.93	82.6	3.38	87.4	8.78	67.7	33.8	50.7	8.0	86.8

淡路家畜市場情報

平成29年10月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	27	169,560	274,320	8,640			56
前回	29	243,857		299,160	165,240			58	-74,297	-30.5%	
前年	26	260,280		303,480	217,080			54	-90,720	-34.9%	
オス	今回	22	214,184	326,160	1,080			52			
	前回	18	266,880	307,800	184,680			56	-52,696	-19.7%	
	前年	27	316,440	380,160	217,080			55	-102,256	-32.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	1	47,520		47,520	47,520			61	-47,520	-100.0%	
前年	2	63,720		64,800	62,640			52	-63,720	-100.0%	
オス	今回	28	63,064	92,880	1,080			51			
	前回	13	83,825	112,320	28,080			52	-20,761	-24.8%	
	前年	24	82,575	116,640	28,080			52	-19,511	-23.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成29年9月25日・前年は平成28年10月9日

平成29年10月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	18	217,800	262,440	169,560			55
前回	27	169,560		274,320	8,640			56	48,240	28.5%	
前年	24	225,765		285,120	61,560			54	-7,965	-3.5%	
オス	今回	21	271,389	326,160	209,520			54			
	前回	22	214,184	326,160	1,080			52	57,205	26.7%	
	前年	24	227,880	329,400	7,560			55	43,509	19.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	11	56,258	98,280	8,640			51			
	前回	28	63,064	92,880	1,080			51	-6,806	-10.8%	
	前年	18	34,920	60,480	1,080			52	21,338	61.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成29年10月9日・前年は平成28年10月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
28	1	76,548	90	91,636	158	111,080	27	112,142	9,709
	2	82,502	82	91,509	156	95,842	31	113,885	9,279
	3	98,757	102	102,968	185	102,004	29	113,158	10,264
	4	105,777	86	124,165	156	114,895	26	119,542	9,276
	5	116,872	70	128,958	111	128,179	19	135,924	9,004
	6	125,864	37	135,982	110	135,617	14	134,484	9,233
	7	105,962	62	133,011	133	160,007	13	116,795	9,572
	8	117,145	77	121,360	135	118,908	20	98,135	11,045
	9	96,317	77	103,858	182	89,843	32	87,204	10,264
	10	79,468	67	81,273	178	66,221	38	92,711	9,470
	11	95,481	93	97,150	150	98,490	36	99,112	9,719
	12	82,177	89	94,986	139	89,802	40	91,166	9,342
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
28	1	213,238	303	202,822	475	281,982	295	224,257	14,061
	2	214,273	342	209,469	444	271,354	276	229,554	13,772
	3	223,849	381	217,176	531	277,722	287	236,767	15,201
	4	253,843	323	255,633	430	308,423	260	250,058	13,264
	5	279,766	301	270,527	383	315,630	236	264,799	13,066
	6	294,349	209	287,045	450	340,358	233	281,350	12,717
	7	285,071	244	280,770	363	384,258	180	285,459	12,677
	8	277,388	276	280,096	391	339,831	193	270,947	14,607
	9	281,508	261	280,947	499	321,886	236	255,391	14,400
	10	266,688	314	264,337	403	304,279	273	247,866	14,005
	11	272,821	356	266,333	455	312,788	236	259,911	14,562
	12	263,578	334	261,791	473	320,622	306	264,140	14,274
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(平成29年11版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

29年10月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	6日	719,000円	735,000円	-16,000	97.8%
ホクレン北見市場	6日	774,000円	793,000円	-19,000	97.6%
ホクレン十勝市場	10日	888,000円	794,000円	94,000	111.8%
ホクレン釧路市場	11日	843,000円	787,000円	56,000	107.1%
ホクレン根室市場	12日	843,000円	837,000円	6,000	100.7%
ホクレン豊富市場	13日	809,000円	768,000円	41,000	105.3%
ホクレン十勝市場	25日	900,000円	862,000円	38,000	104.4%
ホクレン北見市場	26日	838,000円	793,000円	45,000	105.7%
平均		855,000円	811,000円	44,000	105.4%

11月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン根室市場	2日	843,000円	840,000円
ホクレン十勝市場	8日	888,000円	838,000円
ホクレン南北海道市場	10日	719,000円	765,000円
ホクレン豊富市場	16日	809,000円	770,000円
ホクレン釧路市場	22日	843,000円	806,000円
ホクレン根室市場	23日	843,000円	891,000円
ホクレン北見市場	27日	774,000円	883,000円
ホクレン十勝市場	28日	900,000円	890,000円
平均		855,000円	811,000円

12月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	8日	818,000円
ホクレン豊富市場	14日	924,000円
ホクレン根室市場	18日	957,000円
ホクレン釧路市場	19日	921,000円
ホクレン十勝市場	20、21日	990,000円
ホクレン北見市場	22日	938,000円
平均		950,000円

兵庫県酪農協 購買課

北海道乳牛産地情報

(平成29年11月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	横這い	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計98.5%、累計で93.7%、苫小牧管内月計で101.9%、累計で97.9%の実績となっております。
	初妊牛	8.3~9.3	横這い	11月の初妊牛動向として、1~2月腹が中心となり、F1腹がメインとなり、和牛受精卵移植腹はやや弱含み、雌雄選別腹は少な目の流通と思われ、高能力牛も出てくる地域となつていますが、出回り頭数は少な目です。お早目のお問い合わせをお願いします。育成牛も高値が続くものと思われ、高値が続きま
	経産牛	4.5~5.0	横這い	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、99.9%、累計で97.5%、中標津管内月計で101.1%、累計で99.7%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	5.5~6.5	やや弱含み	11月の初妊牛動向として、2月~3月腹が中心の動きとなります。相場動向としましては、今までの流れと同様に、道内の導入需要が旺盛な事、道外の大型牧場の導入が継続して行われる見込みである事から、高値を維持するものと見込まれます。道内酪農家の経営状況が良く、年々年末に向けて頭数が減る事も予想され、相場を上げる要因となるかもしれません。雌雄選別腹につきま
	初妊牛	8.7~9.5	横這い	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、101.4%、累計で98.3%の実績となっております。
	経産牛	5.5~6.5	横這い	11月の初妊牛動向として、1~2月分はF1腹がメインとなり、雌雄選別腹に導入助成が付く場合もあり、この腹の需要が高まり、出回りは少なくなつてきております。また、道内外問わずメガ・キガファームの導入は続いており、初妊牛の価格は横這いと
帯広管内	育成牛(10-12月令)	5.2~6.2	横這い	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、100.7%、累計で98.7%、北見管内では月計で100.2%、累計で98.8%の実績となっております。
	初妊牛	8.7~9.5	横這い	11月の初妊牛動向として、1月~2月腹中心となります。引き継ぎ、道内外において規模拡大や精乳ロケット導入による増頭、後継牛確保として、初妊牛導入が見込まれることから価格は高値維持すると思われ、雌雄選別腹については需要増加の一方で、資源が充
	経産牛	5.3~6.3	やや強含み	第2希望として通常精液授精のホル腹やF1腹の導入もご検討下さいませ。お早目のご注文をお願いします。
道北管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	横這い	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、100.7%、累計で98.5%の実績となっております。
	初妊牛	8.2~9.0	横這い	11月の初妊牛動向として、1月~3月上旬腹が中心となり、1月~3月上旬腹が中心となり、依然として、腹別ではF1腹を中心とした取引がメインとなり、資源的にタイトな雌雄選別腹を希望するオーダーが多くなつております。道内酪農家における生乳生産意欲が旺盛な事、また道内及び都府県のメガ・キガファームの大型導入が初妊牛相場を引っ張る形になると予想されます。これからの時期、都府県
	経産牛	5.0~6.0	横這い	らのご注文頂きます様お願い申し上げます。
道内系会括	育成牛(10-12月令)	5.2~6.0	横這い	
	初妊牛	8.5~9.5	横這い	
	経産牛	5.3~6.3	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1282
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありまして、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたら、納付の状況によるよう購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話し上げます。

牛群成績平均情報 2

平成 29年 10月分

2017/12/07

64

2 / 2
兵庫 兵庫

全 122 戸中 106 戸集計

移動 13カ月 成績 検定月	授 精 状 况 (除糍牛を含む)		管 理 状 况				
	授 精	授 精 回 数 (3回以上)	授 精 交 配 率 (%)	妊 娠	空 胎 日 数	乾 乳 日 数	90 以上
10	999 (9.4) 28	2.8	40	33	84	13.9	54
11	914 (8.6) 32	2.8	41	38	80	14.1	57
12	985 (9.3) 30	2.9	42	44	81	14.1	59
1	938 (8.8) 27	2.7	38	32	82	13.9	56
2	890 (8.4) 29	2.7	38	37	80	13.8	55
3	919 (8.7) 29	2.7	40	35	83	14.2	54
4	869 (8.2) 25	2.8	39	37	83	14.6	54
5	857 (8.1) 27	2.8	41	31	84	15.5	52
6	849 (8.0) 25	2.9	45	30	88	14.5	53
7	717 (6.8) 27	2.9	45	34	82	13.9	54
8	646 (6.1) 28	3.0	48	10	92	15.0	50
9	957 (9.0) 28	3.1	47	11	89	13.7	50
10	503 (4.7) 26	3.1	47	0	80	13.3	58
平均・計	10540 (99.4) 28	2.9	19	34	84	14.2	54
前年成績	10399 (98.1) 32	2.8	19	39	87	14.5	58

()内は、1戸平均。

項目別 種雄牛成績	種雄牛区分別種雄牛頭数						種雄牛情報							
	頭数	成績あり種雄牛	海外種雄牛	後代検定	その他	総合指数(NTP)	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	E	B	V	乳代効果
授精・妊娠	3466	45	14	6	49	+2121	+954	+0.04	+0.07	+0.11	+0.09	+0.09	+97823	
2カ月前検定(産期)	793	60	20	5	36	+1713	+765	+0.08	+0.06	+0.09	+0.09	+85664		
未経産	373	74	32	19	7	+1357	+629	+0.01	+0.03			+88877		
1産	1435	74	25	6	20	+1028	+562	-0.03	0.00	-0.04		+56347		
2産以上	2996	70	24	29	29	+819	+429	-0.01	+0.01	+0.02		+43329		
初産分塊月 齢	21以下	22~	24~	26~	28~	30以上	30以上	初産分塊月 齢	(予定)	合計頭数				
分塊間隔 頭数	6	35	30	15	6	7	25	(25)	(25)	1120				
2産	913	26	18	12	9	35	442	(457)						
3産	659	22	18	14	11	35	451	(457)						
4産以上	758	20	17	13	11	39	456	(463)						
平均又は合計	2330	23	18	13	10	36	449	(459)						

注) 乳代効果と無脂固形分率には海外種雄牛は含まれておりません

月別分塊 子定頭数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計頭数
(初産)	8	17	16	15	14	15	12	5	1987
(2産)	5	16	21	14	12	14	12	5	187

月	経産牛1頭当たり年間成績		P/F 比		
	乳量	蛋白質率			
10	8989	3.96	3.33	8.78	0.84
11	9001	3.96	3.34	8.78	0.84
12	9010	3.96	3.34	8.78	0.84
1	9015	3.96	3.34	8.79	0.84
2	9069	3.96	3.34	8.78	0.84
3	9054	3.97	3.35	8.79	0.84
4	8957	3.92	3.35	8.80	0.86
5	9082	3.98	3.35	8.79	0.84
6	9107	3.97	3.35	8.79	0.84
7	9106	3.98	3.35	8.79	0.84
8	8989	3.93	3.35	8.79	0.85
9	9011	3.93	3.35	8.79	0.85

授精報告	253 頭 86 %			
	頭数	未経産	経産	3230 頭 73 %
今月の未授精牛	1201	57	11	7
初前月	291	31	22	17
回 3カ月	668	30	24	18
精 週1ヵ月	2713	26	27	20
繁殖に供さない牛				12 頭

年間追加除糍牛	除糍										合計頭数			
	追加頭数	追加工率	乳器障害 (乳房炎)	繁殖障害	脱離	脱落	消化器病	起立不能	疾病計	低能力		死亡	乳用元却	
未経産	460	9.6	9.5	()	2.4	4.8	9.5	23.8			4.8	61.9	42	1
1産	773	16.1	17.4	(4.1)	13.2	2.5	9.9	17.8	5.8	14.5	31.0	242	5	
2産	7	0.1	20.0	(6.2)	13.4	3.6	10.8	21.3	5.9	9.8	29.2	305	6	
3産以上	21	0.4	19.2	(8.5)	10.6	4.1	3.7	17.4	11.4	10.3	30.3	755	16	
除糍日までの分塊後日数	5-4	(5-10)	5-6	5-3	5-0	5-1	6-3	5-3	5-7					
除糍日までの分塊後日数	261	(264)	445	256	299	278	370	275	360					

注) 除糍年平均には乳用元却は含まれておりません

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (H)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定音種値)				体型のEBV				血統情報		管理形質								
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体積と 骨格	肢蹄	乳用 強健 性	乳器	決定 得点	体高 胸深 尻高	父牛	母系祖父	産子 頭数	在群 期間	遺乳 格付性	
A	1	JP4H55951	アイユーレディスマナー ジョージア	67,399	138,129	2,876	1,332	67	0.15	122	0.06	53	0.11	0.46	1.02	0.83	0.99	1.08	2.40	ビーン	×	7-20	6	66	0.72
A	2	JP3H55926	ウインザークナー SW ナイガラ ET	97,139	180,530	2,836	1,806	77	0.07	168	0.05	53	-0.04	0.54	-0.35	0.22	0.26	0.41	2.41	ナイガラ	×	7-20	6	56	-0.02
A	3	JP3H56191	カムサンダーハード	74,075	127,364	2,754	1,137	69	0.26	117	0.15	47	0.10	1.68	0.75	1.18	1.11	1.47	2.30	スーダン	×	アルキナダ	6	64	2.37
A	4	JP5H55552	サンワード スーパー エモンソン ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	1.72	スーダン	×	ハズター	6	63	1.62
A	5	JP4H56400	ペイリツランド スーダン ハウエル ET	89,655	104,136	2,572	881	75	0.04	72	0.06	37	0.09	1.53	0.33	1.20	0.99	1.28	2.14	スーダン	×	7-20	6	54	0.01
A	6	JP3H56451	ハンツリー サックル ホーイ	5,159	94,306	2,551	725	70	0.42	80	0.18	41	0.20	1.13	0.69	1.36	1.50	1.58	2.69	スーダン	×	7-20	6	61	0.21
A	8	JP3H55839	アイユー ナイト エリアス ET	109,716	146,929	2,424	1,568	30	-0.30	156	0.18	51	0.02	0.48	0.29	0.32	1.09	0.97	1.47	ナイガラ	×	マスコル	7	60	-0.64
A	9	JP4H56365	アイユー フェイス ファットボイ	108,116	86,752	2,420	669	61	0.37	70	0.18	33	0.12	1.05	0.36	-0.09	0.99	1.00	2.03	スーダン	×	スーダン	6	57	0.82
A	11	JP5H56250	クワット エカース M エグザイル	48,563	143,590	2,261	1,480	57	0.00	118	0.00	49	0.00	0.88	0.21	0.55	-0.16	0.14	2.20	スーダン	×	ドワリ	6	63	1.04
A	13	JP3H56137	ケネランド ハンター ヘル スカイ ET	98,880	124,879	2,221	1,397	29	-0.25	122	0.00	43	-0.03	0.71	1.37	0.74	1.22	1.45	2.18	アルタイタ	×	ジェイストリーム	7	64	1.46
A	14	JP3H56115	ビュアツカル ミオ ハツオ	54,780	92,778	2,207	758	37	0.09	99	0.39	45	0.21	0.24	0.62	0.28	0.77	0.67	2.56	ドナルド	×	7-20	6	62	1.66
A	15	JP5H56304	ゴールド N SW ジェラルド ET	66,090	109,512	2,184	1,048	51	0.11	110	0.08	38	0.04	0.36	0.24	1.29	0.96	0.95	1.94	ジェラルド	×	7-20	5	57	1.36
A	16	JP4H54859	モントップ エルデン ホルトン ET	60,894	32,460	2,151	-107	75	0.86	20	0.31	30	0.37	0.27	0.06	0.07	0.06	0.40	2.69	ホルトン	×	ホー	11	86	-0.30
A	18	JP3H55992	ライジンガサン サマー ソニック ET	29,799	102,317	2,133	987	53	0.16	79	0.00	40	0.09	0.60	0.39	1.21	0.84	0.83	2.64	ビーン	×	7-20	7	63	-0.20
A	19	JP5H55879	ヘカシン CCM ウェーノ	47,920	129,857	2,132	1,321	62	0.11	103	-0.07	38	-0.04	1.98	0.06	1.32	0.41	1.09	2.49	アイオーン	×	メグ	7	64	1.84
A	20	JP3H56204	サリックス シーブリーズ	46,973	46,598	2,118	43	81	0.87	33	0.27	25	0.26	1.01	0.41	1.30	0.86	0.92	2.13	スーダン	×	ホワード	7	566	-0.21
A	21	JP2H56641	NLBC スター ファルシオン ET	67,816	89,119	2,079	856	39	0.05	83	0.10	30	0.01	2.33	0.67	1.81	1.65	1.92	2.12	スーダン	×	スーダン	6	56	1.23
A	23	JP5H55973	ストリープ エヴァン	74,719	91,950	2,033	885	35	0.00	93	0.15	36	0.07	0.51	0.77	0.20	0.89	1.00	2.26	ビーン	×	ホー	6	60	1.95
A	24	JP5H56263	HMU ジュリエー オース ホリバー	70,115	143,243	2,020	1,684	40	-0.23	120	-0.23	40	-0.15	0.24	0.58	0.50	0.16	0.30	1.60	オースタイル	×	7-20	5	52	0.70
A	25	JP5H55782	リバーサイド クレブ ET	75,155	61,989	1,996	514	30	0.13	55	0.18	28	0.12	1.59	1.23	0.97	1.24	1.59	1.94	マクオーン	×	コーンウイン	7	60	1.14
A	26	JP3H55079	マックス デーリー ニホロ ET	61,166	62,693	1,984	450	45	0.28	66	0.21	34	0.20	0.63	0.21	-0.10	0.67	0.68	1.91	エリクストリー	×	リチ	4	68	0.60
A	28	JP3H56376	アイベロップ キュートマン ET	73,439	94,050	1,923	999	34	-0.04	90	-0.03	32	-0.01	1.50	0.45	1.28	1.55	1.64	1.77	7-20	×	7-20	6	62	0.59
A	30	JP5H55389	リバーヒル プラネット シューケリン ET	21,751	96,423	1,837	935	26	-0.11	104	0.25	44	0.15	1.29	-0.22	1.66	1.04	1.12	2.11	7-20	×	7-20	7	49	-0.36

入手難易度

A: 配布希望本数に於いて供給可能なもの。 B: 制限配布(時期により入荷の少ないもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合脊椎形成不全症(CV)は掲載牛全頭陰性。アラキス(バイナリ)については、掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYGと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

《2月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

総合指数順 (N T P) 《2017-8》

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命速産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定音種値)					体型のEBV			体細胞 スコア	血統情報	管理形質							
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格			肢蹄	乳用強 優性	乳器	決定 得点	産子 難産率	在群期間胎乳格差		
?	3	JP3H56191	カトム サガン・ハート	74,075	127,364	2,754	1,137	69	0.26	117	0.15	47	0.10	1.68	0.75	1.18	1.11	1.47	2.30	スーザン × フレキソナグ	6	64	2.37	
?	5	JP4H56400	ベリツラランド スーザン ハウエル ET	89,655	104,136	2,572	881	75	0.04	72	0.06	37	0.09	1.53	0.33	1.20	0.99	1.28	2.14	スーザン × フラネット	6	54	0.01	
?	6	JP3H56451	ハインツリー ナツクル ボーイ	5,159	94,306	2,651	725	70	0.42	80	0.18	41	0.20	1.13	0.69	1.36	1.50	1.58	2.69	スーザン × ラカントアラブ	6	61	0.21	
?	9	JP4H56365	ティューフェイス アットボーン	108,116	86,752	2,420	669	61	0.37	70	0.18	33	0.12	1.05	0.36	-0.09	0.99	1.00	2.03	スーザン × スーパ	6	57	0.82	
?	10	JP3H56258	レディスマナー アトミレーション	76,677	113,152	2,318	1,132	56	0.12	98	-0.40	38	0.02	0.65	0.34	0.26	0.78	0.78	2.32	スーザン × エアロ	6	60	0.79	
?	11	JP5H56250	クロケット エーカース M エグザイル	48,563	143,590	2,261	1,480	57	0.00	118	0.00	49	0.00	0.88	0.21	0.55	-0.16	0.14	2.20	スーザン × トリツシ	6	63	1.04	
?	10	JP3H56258	レディスマナー アトミレーション	76,677	113,152	2,318	1,132	56	0.12	98	-0.40	38	0.02	0.65	0.34	0.26	0.78	0.78	2.32	スーザン × エアロ	6	60	0.79	
?	12	JP3H56605	ケムアナー スノーマン ベーター ET	113,163	105,150	2,253	1,016	46	0.07	108	0.09	38	0.07	1.34	0.56	1.04	1.27	1.49	1.85	スノーマン × ハウス	6	53	0.33	
?	15	JP5H56304	ゴールド N SW ジェルト ET	66,090	109,512	2,184	1,048	51	0.11	110	0.08	38	0.04	0.36	0.24	1.29	0.96	0.95	1.94	ジェラード × フェス	5	57	1.36	
?	20	JP3H56204	サリックス シーフリー	46,973	46,598	2,118	43	81	0.87	33	0.27	25	0.26	1.01	0.41	1.30	0.86	0.92	2.13	スーザン × ホランド	7	566	-0.21	
?	21	JP2H56641	NLBC スタール シオン ET	67,816	89,119	2,079	856	39	0.05	83	0.10	30	0.01	2.33	0.67	1.81	1.65	1.92	2.12	スーザン × スーパ	6	56	1.23	
?	24	JP5H56263	HMU ジェリー オース ホリハ	70,115	143,243	2,020	1,684	40	-0.23	120	-0.23	40	-0.15	0.24	0.58	0.50	0.16	0.30	1.60	オースタール × フラネット	5	52	0.70	
?	28	JP3H56376	ディハロップ キューマン ET	73,439	94,050	1,923	999	34	-0.04	90	-0.03	32	-0.01	1.50	0.45	1.28	1.55	1.64	1.77	アツタ × ショット	6	62	0.59	
							100,236	2,164	940	52	0.20	89	0.09	36	0.12	1.06	0.47	0.82	0.97	1.08	1.99			

入手難易度

A:配布希望本数に応じた供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の少ないもの) C:制限配布(少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非割当に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠血症(BL)及び牛核合音種形成不全症(CV)は掲載牛全頭陰性。プラキスハイナ(BY)については、掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYGと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I 順

米国ホルスタイン協会
《2017-4》

供給 難易度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	信頼度				体細胞 信頼度	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度	
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			乳器	肢蹄	信頼度	父牛	母系祖父		
D	1	7H012165	ペーコンビル モントロ ET	TR TP	2,744	83	-0.16	83	-0.02	98	3.05	4.6	2.24	1.60	1.87	96	モーグル × ホルト	6.8
A	2	7H012266	ウットクレスト モーグル ヨダ ET	TR TP	2,673	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル × フラネット	6.0
B	3	7H011352	シーガルバレイ スーパーサイア ET	TR TP	2,603	98	0.16	64	0.00	99	2.84	6.6	1.02	0.49	0.02	99	ロバスト × フラネット	7.2
A	4	200H02792	サンディエイハレー サルーン ET	TR TY	2,599	83	0.04	71	0.06	98	3.03	1.1	2.85	1.60	1.43	97	アイト	9.4
A	5	7H012105	S-S-I モーグル リフレクター	TR TP	2,590	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル × スーパー	8.0
A	6	7H012198	モニングビュー MCC キングホーイ ET	TR TP	2,567	44	-0.04	40	0.00	98	2.69	4.5	3.28	2.61	1.92	94	マックエン × スーパー	8.2
A	7	7H011752	ロイレイン ブックム ホブ 5170 ET	TR TP	2,564	65	0.26	50	0.34	98	2.99	4.5	1.89	1.69	0.99	95	ブックム × ホーマン	6.7
A	8	7H011708	テスルキー 11057 ET	TR TP	2,555	76	0.30	42	0.08	95	2.73	6.0	1.77	1.31	1.06	92	ブックム × フロコ	5.8
B	8	1H011022	S-S-I スーパーマン メイアワー ET	TR TL	2,555	52	-0.26	73	0.00	99	2.77	5.6	1.02	0.47	1.29	94	スーパーマン × ヴィアテス	7.0
A	10	7H011383	S-S-I スーパーマン モーガン ET	TR TP	2,552	59	0.04	48	0.04	99	2.81	7.0	1.55	1.14	0.94	97	ブックム × ヨトル	7.4

入手難易度

A:配布希望本数に於いて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(少量入荷が続いているもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

【管理形質の見方について】

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、産産の可能性が高くなります。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

GLPI 順

カゲディアン デビュー ネットワーク
《2017-4》

供給 難易 度	LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		信頼度	体型のEBV				血統情報		管理形質 分娩能力
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)		体型	乳器	肢蹄	乳用強 健性	尻	父	
	2	200H3910	コムスター ロートラスト	3,330	1,637	86	0.2	76	0.17	88	14	13	14	7	11	スーダン × マスター	100
	3	250H1043	ジェニエック アイクマン RC	3,237	1,360	111	0.53	76	0.25	92	7	7	6	7	-2	スノーマン × ハグスター	106
	4	250H6480	バルビツン トアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	99	16	13	11	16	3	ブッカ × シトル	99
	5	7H12111	ミスター OOD エビック ドラゴン ハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	89	12	13	6	1	8	エビック × プラネット	105
	6	7H12026	デュー MGL グリーンウェイ 11396 ET	3,206	2,224	99	0.13	84	0.09	87	9	7	8	8	2	モーグル × プラネット	107
	7	7H11314	マウントファイールド SSI DCY モーグル ET	3,201	1,535	102	0.39	59	0.07	98	13	13	12	5	2	ドロー × マッシュ	105
	1	250H1009	メイプルウッド ブリュエーマスター	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	93	8	6	5	8	9	ギヤレット × シトル	102
	8	250H12128	ギルガー モーグル ソロ ET	3,126	1,566	65	0.05	52	0.01	87	14	11	14	8	6	モーグル × ドメイン	104
	9	250H1109	スタントンス カマロ	3,105	654	84	0.57	51	0.25	86	10	7	10	5	6	エビック × フレディ	107
	10	200H10362	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	86	12	13	7	9	-3	マウカチン × オブザーバー	99

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。

B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの)

C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

【管理形質の見方について】

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。

分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの堅い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。

潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上を促す重要な要素となりま

～ 乳用牛改良情報(ホル♀) ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種価)						体型のEBV				血統情報		産子連産 スコア	備考		
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄	乳用強 傾向	乳器	決定 得点			父牛	母系祖父
4	JP5H55552	サンワート スーパー エモンジョン ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	スーパー	ハクスター	6	
7	JP3H55953	レイハート ナイアガラ ハリッシュ ET	67,963	102,603	2,241	981	41	0.05	105	0.16	41	0.10	9.00	0.09	0.53	1.47	0.97	ナイアガラ	ジェットストリーム	6	
8	JP3H55839	ライユー ナイト エクリプス ET	104,836	135,510	2,236	1,486	22	-0.34	145	0.18	48	0.02	0.51	0.32	0.32	1.19	1.04	ナイアガラ	シトル	7	
14	JP3H56115	ピュアリアル ロミオ ハリッシュ	39,972	114,868	2,006	1,177	57	0.11	93	-0.06	36	-0.02	1.96	0.65	1.40	0.40	1.12	アイオーン	エールドウイン	7	
15	JP5H56304	エールド N SW シェルドン ET	47,871	47,871	1,964	1,130	41	-0.02	108	0.09	50	0.15	-0.27	0.05	-0.17	-0.24	-0.36	プラネット	シトル	6	
18	JP3H55992	ライオンサン サマー ソニック ET	21,023	21,023	1,959	866	48	0.15	70	0.01	36	0.10	0.57	0.39	1.15	0.82	0.81	ビーコン	ハクスター	7	
19	JP5H55879	ハンカソン CCM ウェアー	26,032	26,032	1,955	1,058	29	-0.12	114	0.23	47	0.14	1.32	-0.17	1.58	0.96	1.05	プラネット	オーマン	7	
20	JP3H56204	カリックス シーブリーズ	58,012	58,012	1,806	721	36	0.10	0.01	0.01	27	0.05	0.82	0.21	0.54	1.22	0.43	ヒル	ランズロット	6	
23	JP5H55973	ストリーフ エヴァン	93,545	93,545	1,805	1,357	39	-0.08	39	-0.08	33	-0.10	0.56	0.92	0.58	0.47	0.86	フレディー	タイタニック	6	
25	JP5H55782	リハート グレイ ET	69,660	122,262	1,805	1,464	23	-0.32	114	0.01	38	-0.09	0.72	0.44	0.93	0.74	0.89	スーパー	ハクスター	7	

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。
～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な(H29年1月現在)検定済種雄牛(カナダ)

Canadian Dairy Network
 《2017-4》

L P I 順

略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV				血統情報	分娩能力	備考	
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用 強健 性				尻
777H6480	ハルビツゾン トアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99%	16	13	11	16	3	ブツム × ショトル	99	
507H1211	ミスター OCD エビック トロコハン Hart ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89%	12	13	6	1	8	エビック × プラネット	105	
550H1009	メープル ウート ブルーマスター ET	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93%	8	6	5	8	9	ガレット × ショトル	102	
777H1036	スタントンズ キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86%	12	13	7	9	-3	マツカゼン オブザーバー	99	
777H6551	ビューソール フレイム ET	3,021	-515	96	1.16	28	0.39	2.99	87%	9	7	10	5	3	ヌメロウ × フレディー	100	
777H3829	JK エター I コントロール	3,016	921	15	-0.16	44	0.11	2.67	95%	15	9	14	11	12	スーマン × ホルトン	98	
559H1066	ジェナバー ションズ ビッグ カフナ	3,011	2,106	71	-0.05	73	0.03	2.84	87%	8	10	2	7	3	エビック	105	
777H3864	ジレット ミスター ションズ	3,009	2,288	45	-0.35	66	-0.07	2.76	91%	13	11	13	8	4	スーマン コールドウイン	104	
550H1002	ジェナバー ションズ エビック	2,905	1,480	41	-0.11	51	0.02	2.84	99%	10	9	7	5	7	スーバー ハクスター	104	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未結産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未結産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県農協 生産増等部 購買課

米国ホルスタイン協会
《2017-4》

T P I

◎兵庫県において精液供給可能な(H29年4月現在)輸入検定済種雌牛(アメリカ)

略号	種雌牛名号	TPI	乳量 (kg)	信頼度				体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報 父牛 × 母系祖父	分娩 難易 度	備考		
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	四肢				信頼度	
507H12165	ベ-コンヒル モントロス ET	2,771	2,889	85	-0.12	80	0.00	96	3.03	4.9	2.36	1.78	2.02	92	モ-グル × ホルトン	7.1	
507H12266	ウツクレスト モ-グル ヨダー ET	2,673	1,373	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モ-グル × フラネオ	6.0	
507H11351	シーガル ベイ ス-パ-サイアー ET	2,644	2,090	99	0.16	64	0.00	99	2.86	6.3	1.18	0.58	0.22	99	ロハスト × フラネオ	7.3	
507H12105	S-S-I モ-グル リフレクター	2,590	1,428	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モ-グル ス-パ-	8.0	
507H12198	モ-ニングヒュー MCC キングボーイ	2,555	1,199	44	-0.06	41	0.00	92	2.77	4.3	3.16	2.69	2.36	88	マツチ子 × ス-パ-	8.1	
507H11708	デス-ル-キー 11057 ET	2,574	1,093	80	0.30	43	0.08	95	2.76	5.7	1.79	1.33	1.12	92	フックム フロコ	5.7	
507H11621	S-S-I スノ-マン メイアワー ET	2,609	2,393	52	-0.28	74	0.02	98	2.79	5.5	1.07	0.64	1.38	93	スノ-マン × ヨウリス	7.1	
507H11383	S-S-I ブックム モ-ガン ET	2,566	1,360	54	0.04	46	0.06	99	2.85	7.3	1.65	1.25	0.99	97	ブックム × ショトル	7.3	
507H11585	サンデイハレー スターリング ET	2,506	1,801	50	-0.14	56	0.00	99	3.16	6.1	2.12	1.20	1.33	98	ロハスト × フラネオ	6.7	
507H11525	ミスター OCD ロハスト トナテロ ET	2,495	1,036	66	0.22	43	0.10	99	2.88	5.6	1.1	1.10	0.69	97	ロハスト × フラネオ	5.9	
507H11314	マウントアールド SSI DCY モ-グル	2,494	1,147	73	0.12	36	0.02	99	2.98	4.3	2.3	2.48	2.42	99	トロー × マーシュ	6.0	
507H12014	デス- MG ダビッチ 11288 ET	2,491	740	71	0.34	43	0.16	96	2.81	4.6	2.14	2.29	1.96	94	モ-グル フロソ	7.0	
507H11419	シーガル ベイ ハットライナー ET	2,472	1,731	70	0.04	60	0.06	99	3.19	2.1	2.34	1.58	1.97	99	ロハスト × フラネオ	7.7	
507H12139	シーマーズ モ-グル ペティー ET	2,457	1,198	48	0.02	41	0.04	96	2.96	4.5	2.74	2.86	1.72	91	モ-グル エクスポート	6.4	
507H11169	ウエルカム ス-パ- ベトロソ ET	2,397	498	35	0.14	8	-0.06	99	2.63	7.2	1.12	1.42	1.18	99	ス-パ- × ハグスター	6.8	

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雌牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未経産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を保持することで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所管内
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

昨年から、邦船3社を含む各船社による業務提携や合併が進んでいます。このようなサービスの合理化や寡占化が進むことで、今後需給のコントロールや海上運賃などの交渉がしやすい環境になっていくと考えられます。

10月から、農産物の輸出や年末に向けての輸出入が増え、PNW（太平洋北部西岸）地域を中心に空コンテナが不足し始めています。また、今年は北米東海岸における輸出入も増えており、北米内陸部では東海岸から空コンテナが回ってこないなどの問題が発生しています。各船社からは、11月もしくは12月のGRI（海上運賃一斉値上げ）実施の通知が来ており、引き続き注視が必要な状況です。

ビートパルプ

<米国産>

新穀の製糖作業は例年よりやや早い8月17日から9月中旬にかけて全米各地で順次スタートしています。収穫面積は前年に比べ微減ですが、総じて単収は良好な状況なためペレットの生産量は例年並みかそれ以上になる見込みです。

中国からの米国産への引き合いは引き続き非常に強く、既に相当量の契約が進んでいるようです。今のところ、コンテナによるデリバリーが中心ですが、今後物量の増加とともにバラ積み船による輸送も視野に入ってくると思われます。中国だけではなく米国内需要も非常に堅調なことに加え、バラ積み船の海上運賃も上昇していることから米国産ビートパルプの価格は旧穀と比べ高値で推移していくと考えられます。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは17年産の生産は終了しました。今年の1番刈の降雨被害の割合は50～60%程度と例年並みで良品が多数発生することが期待されましたが、春期の冷涼な気候の影響で総じて茎は細めでした。また、夜露が不十分で強風の影響を受けたものは葉離れや葉崩れが見られ、ドライな品質のものが多く発生しました。2番刈については天候にも恵まれ、また、例年ほど気温が上がらなかったことから、成分が高く色目の良いものが多く生産されました。3番刈、4番刈は、ワシ

ントン州北部で発生した山火事の煙の影響でウィンドローの時間が長くなったため、色が抜け（ブリーチ）が多く見られ、中級品以下の発生が中心となりました。

周辺の酪農家からの需要はカリフォルニア州に近い他産地と比較すると穏やかで、価格についても他産地と比較すると上げ幅は小さく推移しています。

オレゴン州

南部クラマスフォールズでは全ての収穫が終了しています。17年産の3番刈および4番刈は収穫期の不安定な天候や山火事による煙の影響で夜露が十分に降りなかったため、ドライな品質のものが多く発生しています。今年の収穫スケジュールは、1番刈時の降雨の影響で2番刈終了時点の収穫進捗は例年よりも遅れていましたが、3番刈以降の天候は比較的安定しており収穫スケジュールは早まり、例年よりも多くの生産農家が4番刈の収穫を行ったようです。

輸出向けに限らず、米国内の酪農家からも高品質アルファルファに対して需要が旺盛なことから、収穫が進むにつれて産地価格は上昇し、特に成分が高い4番刈は3番刈を上回る価格で取引が行われています。

中部クリスマスバレーでは3番刈まで収穫が終了し、17年産の生産は終了しました。3番刈の品質は収穫期の悪天候および山火事による煙の影響で葉量、葉付きがあまり良くない、ブリーチが多く入った中～低級品の発生が中心となっています。3番刈の作況を知ったサプライヤーや米国内向けのバイヤーが3番刈の代替として良品2番刈を多く買付けたこともあり、産地価格は高値のまま堅調に推移しています。



クラマス産 3 番刈(10 月撮影)

クリスマス産 3 番刈(10 月撮影)

カリフォルニア州

カリフォルニア州北部は産地によって状況は異なるものの7番刈りの収穫が進んでおります。カリフォルニア州北部では引き続きアルファルファ、綿、トウモロコシから永年作物であるナッツ類への転作が進んでいるようです。

米国内酪農家からの上級品に対する引き合いは引き続き強い状況にあります。米国乳価が下げ止まっていることに加え、トウモロコシの価格が引き続き競争力のある価格で推移しているため、アルファルファ購買力を下支えしているようです。

南部インペリアルバレーでは7番刈の収穫が終了し、8番刈の収穫準備が進んでいます。当地では徐々に気温が下がってきたことで成分、葉付きも改善し、7番刈からは再び上級品の発生も増えてきています。

中国からの需要は産地価格の上昇と中国乳価の下落により引き続き低調なもの、サウジアラビアを中心とした中東需要は上級品を含め全般的に旺盛です。また、現在種子価格が高騰していることから、乾草としての収穫ではなく種子生産を行う圃場の面積が例年の2倍近くとなっています。このため例年よりもアルファルファ乾草の在庫に不足感が出ており、産地価格は先月から一段と強含みで推移しています。

一方、この先種子の在庫は過剰気味になることが予想され、18年産はアルファルファ「ハイ」の生産量は回復する可能性があります。

米国産チモシー

主産地のワシントン州では17年産のチモシーの生産は終了しました。

1番刈については、6月上旬に断続的な降雨があったものの、被害は限定的で、大半の圃場は天候の回復を待って収穫作業を開始したため、酪農向けの上級品～中級品を中心に発生し、低級品は限定的となっています。2番刈については、ワシントン州北部で発生した山火事による煙の影響で通常よりも圃場でのウィンドローの時間が長くなり、それによって茶葉、ブリーチの割合が高くなり、中～低級品の発生が中心となっています。

チモシーの需要は日本および韓国から引き続き旺盛であり、産地価格は堅調に推移しています。日本の米国産チモシーの輸入数量はこの第2四半期合計で、冬期燻蒸前の駆け込み入船もあるとはいえ、前年同期比109%となっており日本国内ではすでに過剰在庫になっている地域もあるようです。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区および中部クレモナ地区の両地区において17年産の生産は終了しています。17年産のカナダ産チモシーは収穫期の天候に恵まれたことから、上級品の発生が半数以上を占めており、中～低級品の発生量が限定的となっています。全体の生産量は単収が少ない圃場も多く例年並みのようです。

作柄が良好なことに加え、米国産チモシーと比較して価格の値上がり幅も小さいことから、韓国および日本からの引き合いは非常に強く、産地在庫はほぼ完売の状況となっています。

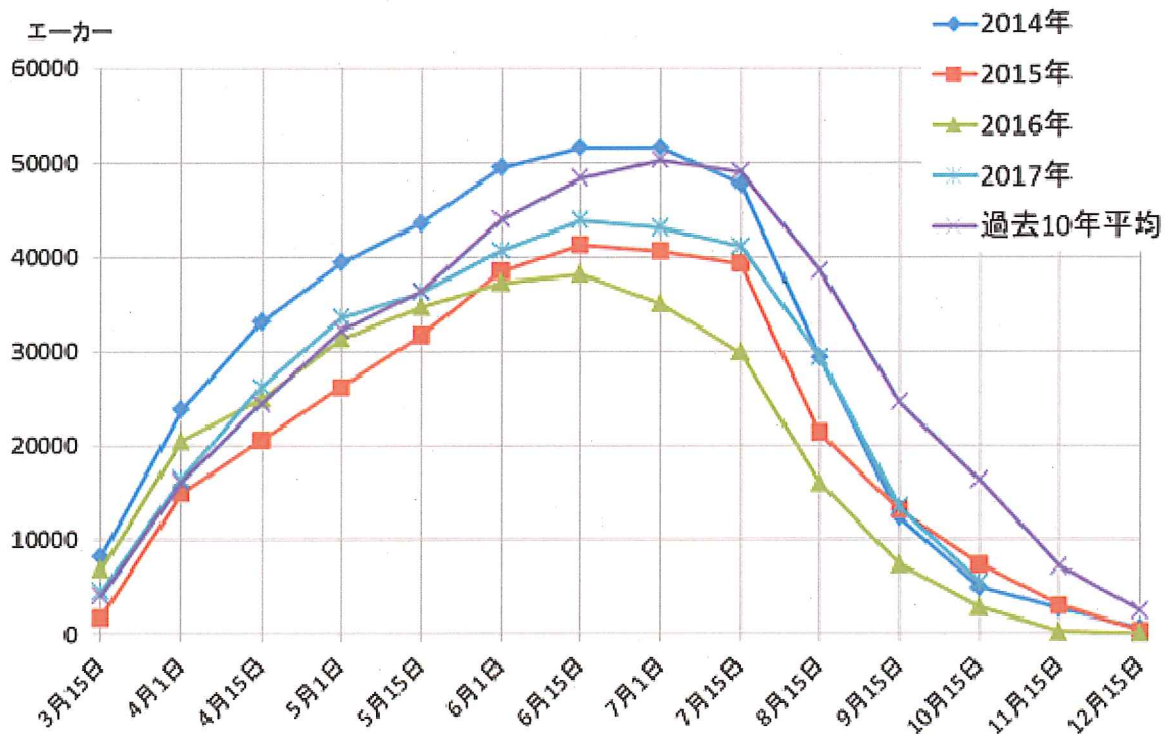
カナダ産チモシーの輸入量は第2四半期合計で、約24,000トンと前年同期比132%となっています。米国産チモシーとの価格差から、需要が旺盛であることが伺えますが米国産同様、過剰な入船が懸念されます。

スーダングラス

インペリアルバレーにおけるスーダングラスの生産はほぼ終了しています。今年は早播きの作付面積が昨年より多く、収穫も例年よりやや早く開始されました。今年の早播きスーダンの茎は柔らかく細めで揃っていましたが、湿気が少ない時期に収穫されたため色抜け品の発生は少なくなりました。また、小麦の収穫後に播種した圃場や2番刈の時期には一部で降雨もあり、雨当たり品や刈り取りの遅れなどにより中級品、低級品も発生しています。

産地の在庫は一部の低級品を除き生産農家側も含めてほぼ契約済みとなっているようです。また、現在のところ総じて日本向けの荷動きは上級品から低級品まで良好なようです。

北カリフォルニアでもほぼ今年の実産は終了しました。生産農家にとって昨年より価格が良かったこと、水不足の懸念がなくなったことから今年の実産面積は昨年より大幅増え、通常レベルに戻った印象です。しかしながら、収穫時の湿度が低かったため、色抜け品や従来の北カル産らしい茎が柔らかいものの発生は例年より少なかったようです。



	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	8236	23795	33118	39364	43597	49495	51586	51594	47756	29337	12376	4879	2646	568
2015年	1752	14942	20561	26214	31644	38502	41260	40633	39247	21329	13150	7345	2998	278
2016年	6874	20497	24929	31326	34651	37268	38130	34990	29859	15979	7335	2784	174	18
2017年	4503	16465	26207	33563	36250	40668	43834	43096	41138	29354	13449	5443		
過去10年平均	4063	16108	24387	32210	36358	43964	48362	50255	49004	38528	24560	16275	7162	2449

インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移(10月15日時点)

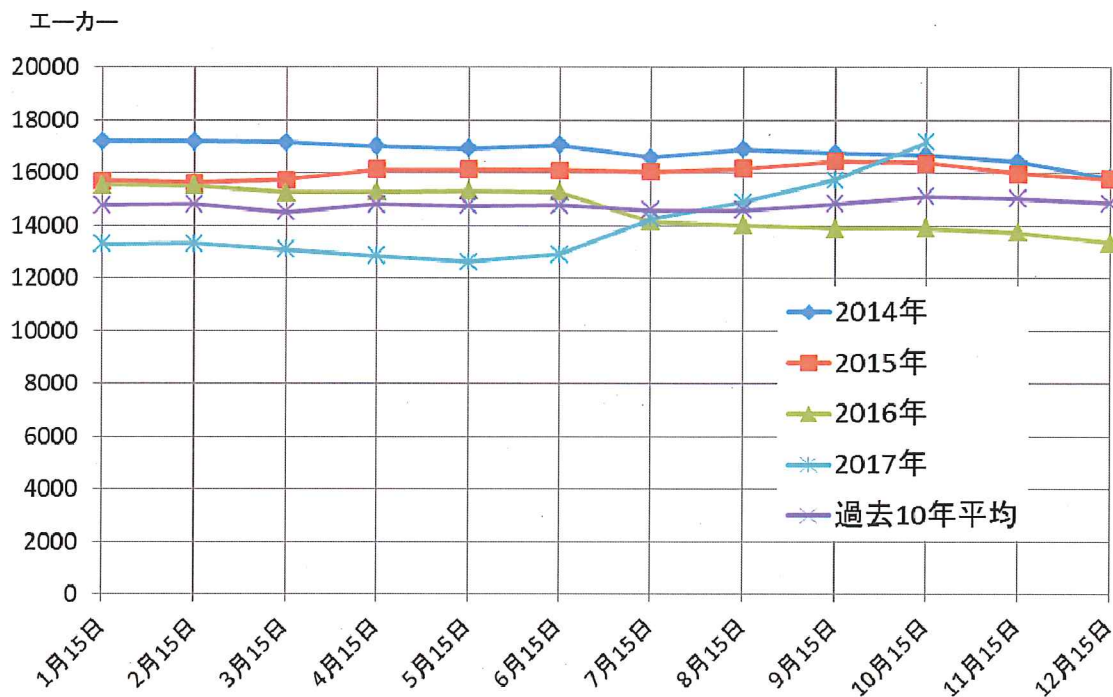
クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

今年度の生産はほぼ終了しています。17年産は主産地インペリアルバレーの作付面積が減少した中でのスタートとなりました。この結果、収穫期の天候には恵まれましたが、最終的な生産量は昨年比で25%程度減少したと言われています。

一方、夏場からは産地価格の上昇により生産農家の生産意欲も戻りはじめ、作付面積は増加の傾向にあり18年産の生産量は回復するものと期待されています。

今年の品質は1番刈から2番刈中盤までは天候に恵まれ良品が多く発生しました。2番刈の後半から3番刈にかけては堅調な需要を背景に、一部の生産農家が単収を増やそうとしたことや、天候が一時不安定になったことから品質もややバラつきが見られます。4番刈から5番刈にかけては、例年より良品が多く発生しているようです。

日本および韓国からの需要が変わらず旺盛ですが、産地在庫はほぼ契約済みとなっており追加の買付は例年よりも難しい状況です。旺盛な需要により産地価格は引き続き強含みで推移しています。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871	13896	13739	13354
2017年	13276	13296	13092	12846	12614	12901	14255	14875	15722	17159		
過去10年平均	14754	14803	14490	14800	14744	14768	14586	14570	14813	15101	15024	14835

インペリアルバレー クレイングラス作付面積推移(10月15日時点)

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地オレゴン州ウィラメットバレーではペレニアルライグラス、フェスキューともに17年産の生産は終了しています。

産地の作付面積は15%前後減少している上、16年産の繰り越し在庫もなく新穀への需要も堅調なことから、多くの生産農家が在庫を抱え売り惜しみをしている状況です。このような状況を受け、産地相場は日々上昇を続けています。

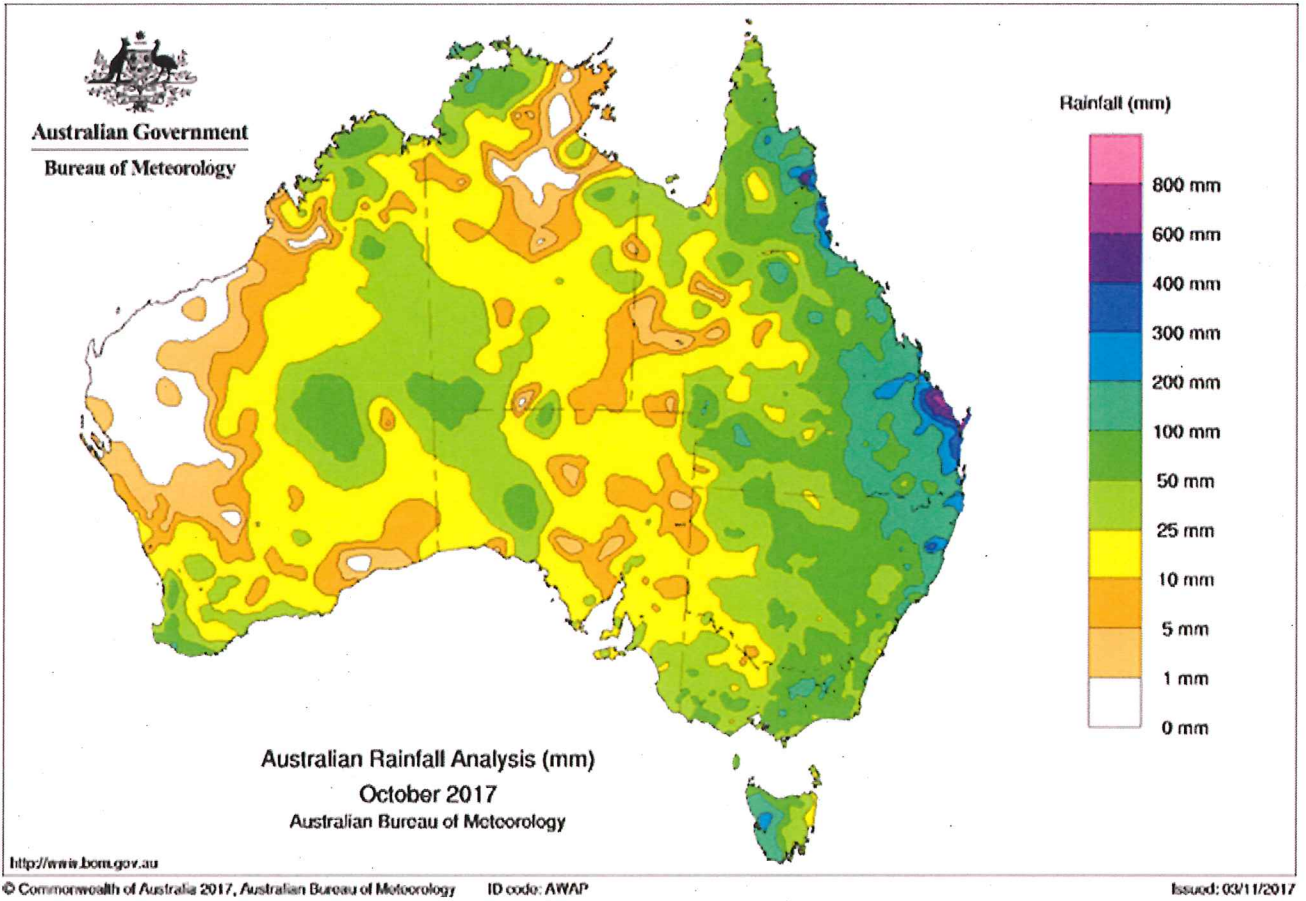
ストローの輸入量が多い韓国の自給飼料は今のところ良好なようで昨年の自給不作により拡大した輸入枠は2018年において一部削減される可能性が強くなっています。この影響で、韓国の輸入粗飼料の需要も変化し、ストローの産地相場にも何等かの動きがあることも考えられ、今後の動向には注視が必要と言えます。

豪州産オーツハイ

西豪州では刈り取りは終了しています。今年は生育期の降雨不足による生育不良により草丈がやや短く茎は細めの圃場が多く、生産量は例年の80%程度となっています。加えて刈り取り後の乾燥期間中には各地で降雨があり、半数以上が雨当たり品もしくは刈遅れ品となっています。降雨を免れた圃場では見た目も分析も良好なものが生産されているようです。

南豪州、東豪州は収穫が最終盤を迎えています。これらの地域も生育期は早魃気味であったため収量は例年以下ではありますが、西豪州よりも単収はよく、また刈り取り後の天候にも恵まれたため、上級品が多く出来ています。地域やサプライヤーによっては90%以上が上級品と言われています。特に東豪州では総じて分析値が良い傾向にあるようです。

旧穀の在庫は減ってきていますが、総じて例年よりも多いため、新穀の出荷は例年よりも遅くスタートすると見られています。価格については西豪州の上級品が予想よりも多くなかったこと、北米産が昨年よりも高値で推移しているため、やや強含みで推移しそうな状況です。



(豪州 10 月の降水量：豪州気象当局データより)

以上

平成29年兵庫県乳牛共進会入賞牛一覧

賞	審査番号	名号	住所	出品者	
名誉賞	902	ESH ロングタイム クリーム	南あわじ市	淡路島牧場株式会社	
優秀賞	113	ケンノウ スノー スパークリング ダイアナ エルサ	加古川市	県立農業高等学校	
	502	フェアハイブン MF プレミアム マンゴプリン	南あわじ市	富永 忠良	
	901	グットリバー トリプル A コナツ	神戸市	吉川 稔英	
	113	ケンノウ スノー スパークリング ダイアナ エルサ	加古川市	県立農業高等学校	
優等賞	第 1 部	114	プラスラント アラカザム トニー	洲本市	奥村 重宏
		105	OFJ フランシスコ ヒナ アモレ	南あわじ市	OFJ シンジケート
		109	HAI ノア-ジエニ- モーグル ㊦	南あわじ市	淡路農業技術センター
		208	ケンノウ スパークリング ラベンダー プリッツ	加古川市	県立農業高等学校
	第 2 部	212	マツクスベル レガリア エリチヤン 1 コウ	神戸市	永田 幹彦
		203	BS ラインマン ロイ	洲本市	赤井 正司
		202	グットリバー プリンセス ミミ パンダ	神戸市	吉川 稔英
	第 3 部	308	ケンノウ スーリン スター スパイラル リオ	加古川市	県立農業高等学校
		309	OFJ フランシス アンソエー	南あわじ市	OFJ シンジケート
		303	ESH ジェシツク クリーム	南あわじ市	淡路島牧場株式会社
	第 4 部	403	グットリバー アンソニー フラワー チップ	神戸市	吉川 稔英
	第 5 部	502	フェアハイブン MF プレミアム マンゴプリン	南あわじ市	富永 忠良
	第 7 部	704	アリスト ウイント スパリン	南あわじ市	山田 光雄
		705	ハリマ タフネ オラシオン	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 8 部	802	ハリマ クイーン ノアル エリザベス	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 9 部	902	ESH ロングタイム クリーム	南あわじ市	淡路島牧場株式会社
能力賞	第 8 部	802	ハリマ クイーン ノアル エリザベス	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 9 部	901	グットリバー トリプル A コナツ	神戸市	吉川 稔英
乳器賞	第 7 部	704	アリスト ウイント スパリン	南あわじ市	山田 光雄
	第 8 部	801	アバンギャルト スーパー ラブ パラダイス ET	南あわじ市	出口 順也
	第 9 部	902	ESH ロングタイム クリーム	南あわじ市	淡路島牧場株式会社

日 時 平成29年10月28日(土)
 場 所 神戸市灘区六甲山町中一里山1-1
 神戸市立六甲山牧場 内 特設会場
 審査委員長 全国ホルスタイン改良同志会
 副会長 福屋 栄人 先生
 審査委員 淡路農業技術センター
 所 長 國東 大資 氏